



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第295号

発行所 / (一社) 静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者 / 三宅 和秀 編集責任者 / 鈴木 雅人 発行日 / 平成26年10月1日 印刷所 / 小林クリエイト(株)



10月号の内容

- ◆ 日臨技精度保障施設認証制度の申請について …… 1
- ◆ 第31回静岡県医師会精度管理 中間報告 …… 2~13
- ◆ 会員投稿 …… 14
- ◆ 10月・11月・12月行事予定 …… 15
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 16~24
- ◆ 会員の異動 …… 25

平成26年度「日臨技精度保障施設認証制度」の申請について（ご案内）

平成22年度より開始された制度ですが、参加施設も増加し現在583施設が認証を取得しております。

さらに高品質な臨床検査値の提供と、国民の皆様（患者さん）への「安心・信頼の更なる確保」を目指して、本制度の普及を推進しております。つきましては、臨床検査の重要性に鑑み、是非とも認証申請されますようご案内申し上げます。

I. 日程

1. 申請書類受付期間: 平成26年10月1日(水)~11月28日(金)
2. 日臨技審査: 平成26年12月1日(月)~平成27年1月17日(土)
3. 理事会(または執行理事会)審議、承認: 平成27年1月下旬~2月上旬
4. 承認通知、認証料請求書発送: 平成27年2月上旬~中旬
5. 認証書発送: 平成27年3月下旬

II. 申請手順

1. 申請書類は、日臨技ホームページ「『精度保証施設認証制度』の申請書類」欄よりダウンロードしてください。
2. 申請書(様式1)に必要事項を記入し、申請書式(様式2~6)に資料を揃えて、日臨技へ郵送してください。
3. 日臨技精度管理調査結果「適」書(様式2-1の代用書)は精度管理調査システム(JAMTQC)からダウンロード可能です。
4. 測定原理・基準範囲・単位一覧表(様式3)は、3.と同時にダウンロード可能です。
5. 内部精度管理基本統計一覧表(様式4)は、JAMTQCに入力済みの場合、3.と同時にダウンロード可能です。
6. 静岡県精度管理調査結果「適」書(様式2-2の代用書)は、JAMTQCからダウンロード可能です。
7. 都道府県技師会の確認審査がなくなり、日臨技に直接送付になります。

III. 申請書類送付先

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証WG宛

IV. 申請費用

50,000円です。審査承認後、認証の合格通知と請求書が送付されます。

※ 質問等ございましたら、静臨技事務所 mail : samtjim@tranzas.ne.jp までお願いします。

平成 26 年度 第 31 回静岡県医師会精度管理調査 中間報告

【血液部門】

血液部門としては、血算・凝固試料の不備があり、ご迷惑をお掛けしました。
 今後は、試料調整に際しても注意し、精度管理向上に努めます。
 各施設の担当者の方には、集計報告を直接聞いて頂くよう、報告会には是非ご参加ください。

【凝固】 参加施設全体の集計結果

	P T						
	試料 21 (秒)	試料 22 (秒)	試料 21 (%)	試料 22 (%)	試料 21 (I N R)	試料 22 (I N R)	I S I
MEAN	11.23	16.94	101.58	45.24	0.99	1.63	1.27
MIN	10.30	14.45	90.10	35.80	0.83	1.40	0.89
MAX	13.60	21.60	121.20	57.50	1.10	1.88	1.73
SD	0.63	1.65	6.27	4.96	0.04	0.12	0.35
CV	5.61	9.71	6.17	10.96	4.47	7.22	27.74
+2SD	12.49	20.23	114.11	55.16	1.07	1.86	1.98
-2SD	9.97	13.65	89.05	35.33	0.90	1.39	0.57
施設数	69						

	A P T T				F I B	
	試料 21 (秒)	試料 22 (秒)	試料 21 (%)	試料 22 (%)	試料 21	試料 22
MEAN	28.83	61.60	79.98	29.84	281	352
MIN	23.90	15.20	0.91	2.10	193	232
MAX	33.90	96.95	102.00	45.80	341	417
SD	2.10	10.44	38.95	15.47	23.58	32.33
CV	7.27	16.96	48.70	51.83	8.39	9.19
+2SD	33.03	82.49	157.87	60.77	328	416
-2SD	24.64	40.71	2.08	-1.09	234	287
施設数	65		6		58	

【血算】 参加施設全体の集計結果

	WBC 試料 24	WBC 試料 25	RBC 試料 24	RBC 試料 25	Hb 試料 24	Hb 試料 25	Ht 試料 24	Ht 試料 25
MEAN	3.7	2.0	4.67	2.63	14.2	7.9	41.4	23.3
MIN	3.1	1.6	4.50	2.53	13.8	7.6	39.7	22.3
MAX	3.9	2.2	4.97	2.78	14.7	8.3	44.7	25.0
SD	0.14	0.09	0.07	0.04	0.18	0.15	0.84	0.50
CV	3.83	4.46	1.43	1.57	1.28	1.94	2.04	2.14
臨床的許容限界上限	3.8		4.86		14.6			
臨床的許容限界下限	3.5		4.48		13.8			
+2SD	3.9	2.2	4.80	2.71	14.6	8.2	43.1	24.3
-2SD	3.4	1.8	4.54	2.55	13.9	7.6	39.7	22.3

	MCV 試料 24	MCV 試料 25	MCH 試料 24	MCH 試料 25	MCHC 試料 24	MCHC 試料 25	PLT 試料 24	PLT 試料 25
MEAN	88.7	89.1	30.5	30.4	34.3	34.0	189	105
MIN	85.9	85.5	28.7	29.0	29.7	30.1	169	96
MAX	92.4	92.4	31.6	32.3	36.1	36.7	222	124
SD	1.52	1.62	0.45	0.68	0.89	0.93	9.24	4.74
CV	1.71	1.82	1.47	2.24	2.60	2.72	4.88	4.51
臨床的許容限界上限	92.2						203	
臨床的許容限界下限	85.1						176	
+2SD	91.7	92.4	31.4	31.7	36.1	35.9	208	114
-2SD	85.7	85.9	29.6	29.0	32.5	32.2	171	95

【血液像】

試料 27 は、マalaria 寄生赤血球、試料 28 は、末梢血液に悪性リンパ腫細胞のみられた標本でした。
参加施設の中には、マalaria 寄生赤血球・異常リンパ球の検出ができなかった施設がありました。

試料 27 一般病院におけるマalaria 未検出施設の病床数内訳

病床数	未記入	20~99	100~199	200~299	300~499	500~699	700~999
未検出施設数	1	1	2	1	4	4	1

試料 28 一般病院における ML 細胞未検出施設の病床数内訳

病床数	未記入	20~99	100~199	200~299	300~499	500~699	700~999
未検出施設数	0	2	4	0	2	0	0

【臨床化学・免疫血清検査部門】

臨床化学検査項目(酵素系、含窒素系、脂質系、CRP、HbA1c)29項目、免疫血清検査項目(IgG、IgA、IgM、TSH、Free-T3、Free-T4、PSA)7項目、合計36項目の調査を行いました。例年同様に基幹施設の平均値を目標値とし、A(優)、B(良)、C(D)(要確認)の3段階評価を行いました。各項目での評価は良好でした。評価がC(D)となった施設に関しては、改善策をとってもらようよう連絡しました。いくつかの施設からは対応策についても報告してもらいました。ご協力ありがとうございました。

今年度は試料作成の負担を軽減する目的で臨床化学項目と免疫項目(IgG、IgA、IgM)はJCCLS多項目実用参照用物質JAMTロール管理血清を使用しましたが、AMYでは基質による測定値の差が認められた為、評価対象外としました。またドライケミストリー法では前年度に比べバラツキが見られました。原因はマトリクスの影響と思われました。

JAMTQC参加施設向けシステムのデータ分析メニュー[データ解析]においてツインプロットで各項目の表示が出来るので参考にしてください。

<各項目におけるABC評価の割合>

項目名	試料	施設数	A評価	%	B評価	%	C評価	%
TP	QC106	96	96	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		96	100.0	0	0.0	0	0.0
Alb (BCP改良法)	QC106	70	70	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		70	100.0	0	0.0	0	0.0
T-BIL	QC106	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		95	100.0	0	0.0	0	0.0
Glu	QC106	98	97	99.0	0	0.0	1	1.0
	QC306		97	99.0	1	1.0	0	0.0
Na	QC106	85	85	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		85	100.0	0	0.0	0	0.0
K	QC106	85	85	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		85	100.0	0	0.0	0	0.0
Cl	QC106	85	85	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		85	100.0	0	0.0	0	0.0
Ca	QC106	83	82	98.8	1	1.2	0	0.0
	QC306		81	97.6	2	2.4	0	0.0
IP	QC106	69	69	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		69	100.0	0	0.0	0	0.0
Mg	QC106	30	30	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		30	100.0	0	0.0	0	0.0
Fe	QC106	76	76	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		76	100.0	0	0.0	0	0.0
UN	QC106	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		94	98.9	1	1.1	0	0.0

<各項目における ABC 評価の割合>

項目名	試料	施設数	A 評価	%	B 評価	%	C 評価	%
CRE	QC106	97	97	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		97	100.0	0	0.0	0	0.0
UA	QC106	96	95	99.0	1	1.0	0	0.0
	QC306		96	100.0	0	0.0	0	0.0
AST	QC106	96	93	96.9	2	2.1	1	1.0
	QC306		95	99.0	0	0.0	1	1.0
ALT	QC106	96	93	96.9	2	2.1	1	1.0
	QC306		96	100.0	0	0.0	0	0.0
LD	QC106	96	96	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		96	100.0	0	0.0	0	0.0
CK	QC106	86	84	97.7	2	2.3	0	0.0
	QC306		84	97.7	2	2.3	0	0.0
ALP	QC106	95	93	97.9	1	1.1	1	1.1
	QC306		93	97.9	1	1.1	1	1.1
GGT	QC106	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		95	100.0	0	0.0	0	0.0
ChE	QC106	84	84	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		83	98.8	1	1.2	0	0.0
TG	QC106	96	96	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		96	100.0	0	0.0	0	0.0
TC	QC106	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		95	100.0	0	0.0	0	0.0
HDL-C	試料 04	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
LDL-C	試料 04	91	91	100.0	0	0.0	0	0.0
HbA1c (NGSP 値)	試料 24	94	94	100.0	0	0.0	0	0.0
CRP	QC106	89	85	95.5	3	3.4	1	1.1
	QC306		88	98.9	1	1.1	0	0.0
IgG	QC106	30	30	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		30	100.0	0	0.0	0	0.0
IgA	QC106	30	30	100.0	0	0.0	0	0.0
	QC306		29	96.7	1	3.3	0	0.0
IgM	QC106	30	29	96.7	1	3.3	0	0.0
	QC306		30	100.0	0	0.0	0	0.0
PSA	試料 03	50	44	88.0	4	8.0	2	4.0

※1 : ALB は BCP 改良法以外の検量方法は評価対象外

※2 : D-BIL、TSH、Free-T3、Free-T4 に関しては、評価対象外

<基幹施設および全体集計一覧>

※一部の項目を抜粋して載せています。

試料	項目名	N	Min	Max	Mean	SD	CV
ALB							
QC106	基幹施設 (12 施設)	12	4.2	4.5	4.28	0.11	2.47
	全体	94	4.0	4.5	4.26	0.09	2.22
	ドライケミストリー	3	3.9	4.8	4.43	0.47	10.66
QC306	基幹施設 (12 施設)	12	4.7	5.1	4.89	0.12	2.38
	全体	94	4.6	5.1	4.86	0.10	2.06
	ドライケミストリー	3	4.5	5.5	5.10	0.53	10.38
D-BIL							
QC106	基幹施設 (12 施設)	12	2.20	3.10	2.62	0.30	11.62
	全体	72	2.20	3.20	2.58	0.28	10.68
	ドライケミストリー	-	-	-	-	-	-
QC306	基幹施設 (12 施設)	12	0.10	0.20	0.15	0.05	34.82
	全体	72	0.10	0.20	0.16	0.05	31.36
	ドライケミストリー	-	-	-	-	-	-
Glu							
QC106	基幹施設 (12 施設)	12	178	185	182.3	1.72	0.95
	全体	98	172	188	182.7	2.24	1.23
	ドライケミストリー	2	176	185	180.5	6.36	3.53
QC306	基幹施設 (12 施設)	12	80	84	82.6	1.24	1.50
	全体	98	78	86	83.2	1.39	1.67
	ドライケミストリー	2	81	87	84.0	4.24	5.05
Ca							
QC106	基幹施設 (12 施設)	12	8.0	8.4	8.17	0.14	1.68
	全体	83	7.7	8.5	8.17	0.17	2.03
	ドライケミストリー	4	7.7	8.2	7.93	0.26	3.32
QC306	基幹施設 (12 施設)	12	9.4	9.8	9.60	0.12	1.26
	全体	83	9.1	9.9	9.59	0.16	1.71
	ドライケミストリー	4	9.3	9.8	9.58	0.22	2.32
	項目名	N	Min	Max	Mean	SD	CV
UN							
QC106	基幹施設 (12 施設)	12	36.3	39.0	37.65	0.78	2.08
	全体	95	36.1	39.6	37.66	0.68	1.80
	ドライケミストリー	4	36.8	39.0	37.95	0.90	2.38
QC306	基幹施設 (12 施設)	12	13.3	14.4	14.00	0.34	2.44
	全体	95	13.2	15.1	13.94	0.34	2.45
	ドライケミストリー	4	14.2	15.0	14.58	0.43	2.98
UA							
QC106	基幹施設 (12 施設)	12	4.5	4.7	4.60	0.07	1.61
	全体	96	4.2	4.7	4.58	0.08	1.81
	ドライケミストリー	3	4.5	4.6	4.57	0.06	1.26
QC306	基幹施設 (12 施設)	12	8.3	8.5	8.43	0.06	0.74
	全体	96	8.0	8.8	8.42	0.10	1.24
	ドライケミストリー	3	8.1	8.5	8.33	0.21	2.50

<基幹施設および全体集計一覧>

試料	項目名	N	Min	Max	Mean	SD	CV
CRP							
QC106	基幹施設 (12 施設)	11	2.64	2.90	2.77	0.07	2.57
	全体	89	2.52	3.09	2.79	0.08	2.71
	ドラッグミストリー	2	3.60	3.80	3.70	0.14	3.82
QC306	基幹施設 (12 施設)	11	1.05	1.17	1.12	0.03	2.81
	全体	89	1.05	1.25	1.13	0.04	3.19
	ドラッグミストリー	2	1.30	1.60	1.45	0.21	14.63
IgG							
QC106	基幹施設 (12 施設)	10	1068	1110	1087.0	16.36	1.51
	全体	30	1051	1110	1085.9	14.75	1.36
QC306	基幹施設 (12 施設)	10	1267	1329	1297.1	20.97	1.62
	全体	30	1267	1345	1303.5	19.66	1.51
IgA							
QC106	基幹施設 (12 施設)	10	196	213	204.2	4.83	2.36
	全体	30	196	214	205.9	4.06	1.97
QC306	基幹施設 (12 施設)	10	233	252	243.3	5.68	2.33
	全体	30	233	258	245.8	5.03	2.05
IgM							
QC106	基幹施設 (12 施設)	10	80	88	82.6	2.12	2.57
	全体	30	79	88	82.2	2.12	2.58
QC306	基幹施設 (12 施設)	10	96	105	99.5	2.68	2.69
	全体	30	95	105	98.9	2.44	2.47
TSH							
試料 3	基幹施設 (12 施設)	12	13.061	18.652	15.518	1.770	11.41
	全体	54	12.784	18.652	15.014	1.478	9.84
Free-T3							
試料 3	基幹施設 (12 施設)	12	3.31	4.53	3.85	0.39	10.26
	全体	51	3.07	4.76	3.93	0.46	11.64
Free-T4							
試料 3	基幹施設 (12 施設)	12	1.22	1.57	1.40	0.14	10.04
	全体	54	1.21	1.80	1.39	0.15	10.80
PSA							
試料 3	基幹施設 (12 施設)	11	10.800	11.900	11.400	0.32	2.83
	全体	50	9.100	12.300	11.262	0.60	5.32

【微生物検査部門】

試料31 塗抹検査サーベイ

Escherichia coli 標準菌株(ATCC 25922)をMcF 0.5に調整し、1%ホルマリン生理食塩液を用いて10倍希釈したものを滅菌チューブへ1mL分注し試料とした。

試料31 塗抹鏡検 回答結果一覧表

回答名称	件数	(%)	正解	評価
グラム陰性桿菌	43	93.5	正解	A
グラム陽性桿菌	3	6.5	不正解	C
合計	46			

グラム陰性桿菌を正解；評価Aとし、グラム陽性桿菌を不正解；評価Cとした。

試料32 同定検査サーベイ

妊娠後期34歳女性。妊婦健診時（妊娠35週）の膣分泌物より分離培養された*Streptococcus agalactiae*をMcF 0.5に調整し、滅菌生理食塩水で10倍希釈したものをシードスワブに吸収させ試料とした。

試料32 同定検査 回答結果一覧表

回答名称	件数	(%)	正解	評価
<i>Streptococcus agalactiae</i>	32	94.1	正解	A
G群β-streptococcus	1	2.9	不正解	C
<i>Lactobacillus</i> sp.	1	2.9	不正解	C
合計	34			

S. agalactiae を正解；評価Aとし、G群β-streptococcus および*Lactobacillus* sp. を不正解；評価Cとした。

試料33 同定検査サーベイ

65歳の男性。インドネシア旅行帰国翌日より下痢や腹痛が発生。翌日も同様の症状が続くため消化器内科受診され、軟便から分離された*Plesiomonas shigelloides* をMcF 0.5に調整し、滅菌生理食塩水で10倍希釈したものをシードスワブに吸収させ試料とした。

試料33 同定検査 回答結果一覧表

回答名称	件数	(%)	正解	評価
<i>Plesiomonas shigelloides</i>	39	100	正解	A
合計	39			

P. shigelloides を正解；評価Aとした。
全施設正解であり、極めて良好な結果が得られた。

試料34 同定・薬剤感受性検査サーベイ

45歳の女性。2日前より排尿痛を訴え、症状が悪化したため泌尿器科受診。

尿より分離培養された*Escherichia coli* をMcF 0.5に調整し、滅菌生理食塩水で10倍希釈したものをシードスワブに吸収させ試料とした。

同定検査

試料33 同定検査 回答結果一覧表

回答名称	件数	(%)	正解	評価
<i>Escherichia coli</i>	33	100	正解	A
合計	33			

E. coli を正解；評価Aとした。

全施設正解であり、極めて良好な結果が得られた。

薬剤感受性検査

試料33 薬剤感受性検査 各薬剤判定値回答一覧表

抗菌薬	件数	(%)	判定	正解	評価
ABPC	30	96.8	S	正解	A
	1	3.2	I	不正解	C
CTX	31	100	S	正解	A
LVFX	31	100	R	正解	A

ABPCの判定“S”を正解；評価A、“I”を不正解；評価C、CTXの判定“S”を正解；評価A、LVFXの判定“R”を正解；評価Aとした。

各抗菌薬の判定値は、ABPCが96.8%、CTXが100%、LVFXが100%の正解率であり、極めて良好な結果が得られた。

各抗菌薬のMIC分布を以下に示す。

【ABPC】 単位：μg/mL

ABPC	≤2	≤4	4	≤8	8	16
件数	1	6	7	11	5	1
(%)	3.2	19.4	22.6	35.5	16.1	3.2

CLSIにおける感性（S）基準である≤8 μg/mLと32施設（96.8%）が回答した。

また、今回ABPC 4 μg/mLの株であるため、

±1管差に収まり非常に安定した結果が得られた。

16μg/mL（I）と回答した1施設は、MIC値2管の差を生じているため、総合的に判定（I）は不正解とした。

【CTX】 単位：μg/mL 微量液体希釈法（29施設）

CTX	≤0.12	≤1	≤4	≤8
件数	3	18	5	3
(%)	10.3	62.1	17.2	10.3

CLSIにおける感性（S）基準は≤1 μg/mLである。微量液体希釈法で実施した29施設は全てS（感性）判定を回答し100%の正解率であった。

しかし、≤4 μg/mLと回答した5施設（同一分析器）および≤8 μg/mLと回答した3施設（同一分析器の薬剤感受性パネル使用）は、CLSIドキュメントM100-S22への変更や低濃度領域測定可能な薬剤パネルへの変更など改善が望まれる。

ディスク法（2施設） 阻止円28mm、29mmの計測でS（感性）判定であった。

【LVFX】 単位：μg/mL

LVFX	>2	>4	≥8	>8
件数	1	18	8	4
(%)	3.2	58.1	25.8	12.9

CLSIにおける感性（S）基準は≤2 μg/mL、中等度耐性（I）基準は4μg/mL、耐性（R）基準は≥8μg/mLである。31施設は全て（R）判定を回答し100%の正解率であった。

しかし、>2 μg/mLと（I）およびRの判断ができない濃度測定の施設があった。この施設はディスク法で追加試験を実施し、（R）であることを確認しており、CLSI判定基準を理解した上での追加試験と判断できた。

試料35 薬剤感受性（フォト）サーベイ

Pseudomonas aeruginosa 標準菌株(ATCC 27853)を用いて薬剤感受性検査（微量液体希釈法）を実施し、マイクロプレート写真を写真撮影し、マイクロプレートの実寸大にカラー印刷したものを配布し試料（フォトサーベイ）とした。

MICの真値は、LVFX：(=) 1 μ g/mL (S)、CPFEX：(=) 0.25 μ g/mL (S) である。

試料35 薬剤感受性検査 各薬剤判定値回答一覧表

抗菌薬	件数	(%)	判定	正解	評価
LVFX	33	100	S	正解	A
CPFEX	33	100	S	正解	A

LVFXの判定“S”を正解；評価Aとし、CPFEXの判定“S”を正解；評価Aとした。

LVFXおよびCPFEXの判定値は両者ともに、33/33施設（100%）が正解であり、極めて良好な結果が得られた。

各抗菌薬のMIC値（読み取り値）を以下に示す。

【LVFX】

LVFX	件数	(%)	正解	評価
1 μ g/mL	33	100	正解	A

LVFXのMIC値 1 μ g/mLを正解；評価Aとした。

【CPFEX】

CPFEX	件数	(%)	正解	評価
0.125 μ g/mL	1	3	許容範囲	B
0.25 μ g/mL	31	96	正解	A
0.5 μ g/mL	1	3	許容範囲	B

CPFEXのMIC値 0.25 μ g/mLを正解；評価A、0.125 μ g/mLおよび0.5 μ g/mLを許容範囲；評価Bとした。

各抗菌薬の符号を以下に示す。

【LVFX】

LVFX	件数	(%)	正解	評価
=	28	84.9	正解	なし
≤	4	12.1	不正解	なし
≥	1	3	不正解	なし

【CPFEX】

CPFEX	件数	(%)	正解	評価
=	26	78.8	正解	なし
≤	6	18.2	不正解	なし
≥	1	3	不正解	なし

LVFXおよびCPFEXともに“=”を正解、それ以外を不正解とした。

今回提示したものは、LVFXおよびCPFEXともに0.015 μ g/mL～8 μ g/mLの10段階希釈濃度を測定可能範囲としたマイクロプレートを使用している。従って、最低濃度である0.015 μ g/mLのウェルに菌の発育を認めなければ、MIC（最小発育阻止濃度）は、0.015 μ g/mLを含む0.015 μ g/mL以下の濃度となり、表現方法は、 \leq 0.015 μ g/mLである。また、最高濃度である8 μ g/mLのウェルに菌の発育を認めた場合は、MIC（最小発育阻止濃度）は、8 μ g/mLを含めず8 μ g/mL以上の濃度となり、表現方法は、 $>$ 8 μ g/mLまたは \geq 16 μ g/mLである。最低濃度以外のウェルでMIC（最小発育阻止濃度）判定をした場合の符号は全て“=”となる。今回、出題者のJAMT-QCシステム設定不備により、符号回答における評価が不能であるが、不正解である施設は評価Cと同等である。不正解の施設は、MIC値判定における符号の表現を、再度確認していただきたい。

【輸血検査部門】

ABO 血液型、Rh(D)型、不規則抗体について 2 試料を配布した。到着後速やかに実施方法に従い、自施設で日常行っている検査手順や再検基準に基づいて精査を進める方針として、可能な限り最終判定まで実施し、報告することとした。

配布試料の解説

検体は、血液センターから譲渡して頂いた RCC-LR、FFP-LR を用いた。FFP-LR は配布 2 日前に解凍し、それぞれ別々の容器に 3ml ずつ分注した。

試料 41 は、A 型・Rh(D) 陽性・不規則抗体スクリーニング陽性検体であり、抗 E 抗体の特異性を認める。

試料 42 は、B 型・Rh(D) 陽性・不規則抗体スクリーニング陰性検体である。

試料 No	ABO 血液型	Rh(D) 型	不規則抗体
41	A 型	Rh(D) 陽性	陽性 (抗 E)
42	B 型	Rh(D) 陽性	陰性

【病理検査部門】

病理部門として 9 回目となる今年度の精度管理調査には 24 施設の参加が得られた。今回は副腎、低分化神経内分泌癌、カルチノイドの計 3 症例を用いて、CD56 抗体、Chromogranin A 抗体、Synaptophysin 抗体を用いた免疫組織化学染色についての精度管理調査を実施した。

CD56 染色

- ・評価 3.5 以上の施設が 82%を占め、比較的良好な結果が得られた
- ・評価 3.5 未満の施設では、メーカー推奨条件とは異なる条件で染色施行している傾向がある

評価が 4.0 以上の評価を得た施設は 7 施設 (32%)、3.5 以上 4.0 未満の施設は 11 施設 (50%)、3.0 以上 3.5 未満の施設は 4 施設 (18%)、3.0 未満の施設は無かった (図 6-10-2)。大部分の施設では診断に影響ない染色が施行されている。

やや低評価 (3.5 未満) となった 4 施設について各施設から提示された調査結果をもとに考察を行い、その原因を探った。低評価の理由は、各施設で異なっており (反応性不十分、染色斑、非特異反応など)、共通したものではなかった。2 施設では、メーカー推奨条件とは異なった条件で染色が施行されており、一次抗体の高い希釈倍率や弱い/強い抗原賦活処理が原因と考えられる。もう 2 施設では染色条件には問題は認められず、使用試薬の調整不良や劣化が染色性に影響を与えた可能性が高いと推測される。

Chromogranin A 染色

- ・評価 3.5 以上の施設が 91%を占め、比較的良好な結果が得られた

抗体種類の違い (Monoclonal 抗体/Polyclonal 抗体) で組織②の染色性が大きく異なる結果となったため、組織②は評価対象から除外し、組織①③で染色評価を行った。

評価が 4.0 以上の評価を得た施設は 6 施設 (26%)、3.5 以上 4.0 未満の施設は 15 施設 (65%)、3.0 以上 3.5 未満の施設は 2 施設 (9%) であり、3.0 未満の施設は無かった (図 6-10-4)。

やや低評価 (3.5 未満) となった 2 施設について各施設から提示された調査結果をもとに考察を行い、その原因を探った。一施設では、抗体濃度がメーカー推奨濃度より明らかに低く、このことが低評価の主原因と考えられる。また抗原賦活において唯一オートクレーブをしていることも低評価となった原因の可能性もある。もう一施設では賦活時間が 90 分と他施設に比べ処理時間が長いことが他の施設と異なっており、低評価となった原因の可能性もある。それ以外には目立った点はなく、使用試薬の調整不良や劣化が染色性に影響を与えた可能性も考えられる。

Synaptophysin 染色

- ・高評価～低評価まで各施設により染色性の差が大きい結果となった
- ・「評価困難」と評価された施設が 2 施設あり、早急な是正処置が必要である

評価が 4.0 以上の評価を得た施設は 5 施設 (23%)、3.5 以上 4.0 未満の施設は 8 施設 (36%)、3.0 以上 3.5 未満の施設は 7 施設 (32%)、3.0 未満の施設は 2 施設 (9%) (図 6-10-6) となり、各施設での染色性の差が大きい結果となった。

評価が 3.4 以下となっている 9 施設では共通して陽性反応が弱く、反応性不十分となっている。特に「評価困難」と評価された施設が 2 施設あり、著しい染色不良が認められた。調査結果から原因を探ると、低評価の下位 4 施設では共通した一次抗体を使用し、また共通して高 pH 系抗原賦活液での熱処理が実施されていた (メーカー推奨は低 pH 系抗原賦活液による熱処理)。このことが染色性低下の原因であった可能性が強く示唆される。その他の 5 施設では概ね染色条件には問題はないと思われ、使用試薬の調整不良や劣化などが影響した可能性が考えられる。

お知らせ

平成 26 年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会は
12 月 14 日 (日) 9:30 より「あざれあ」にて開催します。

多くの会員・賛助会員の参加をお願いいたします。

※日臨技会員カード (2012 年 4 月以降発行のもの) を必ず持参してください。

ディズニーは、好きな方、嫌いな方もいらっしゃると思いますが、私は人混みが苦手、ミッキーを見ても着ぐるみと感じ、どちらかと言えば冷めている方でした。そんな私が、変わったのは、子供と行くようになってからです。

子供が産まれてから、初めてディズニーランドへ行った時のことです。当時子供は2歳ですぐ機嫌が悪くなるし、まだ慣れていないパークで私も主人もへとへとなっていました。それでも夜のパレードを頑張っ
て見ていこうと、その当時のファンティイリュージョンを見ました。すると、子供はパレードに釘付けで、今までに見たこともない表情をしていました。目をきらきらと輝かせている表情を見て、疲れていたのも忘れて何とも言えない幸福感に包まれました。

再び、そのきらきらしている顔が見たくてディズニーランドへ行くこととなり、毎年の我が家の行事になりました。せっかく行くならディズニーの事を知ろうと映画を見たり、雑誌を読んだりして少しずつ勉強し始めました。おかげさまで今ではそれなりに詳しくなりました。



この度、ジェラトーニという新キャラクターが登場しました。ディズニーの戦略と知りつつ乗せられてしまう私達家族ですが、やっぱりかわいいキャラクターです。

最近では、私も子供達もダッフィの写真を景色の気に入ったところで撮ることに喜びを感じています。いい写真が撮れるととっても幸せです。写真を見せられる私の周りの方々は呆れているかもしれませんが、いつもお付き合いしていただきありがとうございます。

子供が小さいときから、現在までパークのあちこちに私たち家族の思い出が転がっています。そのときの事を思い出しながら、パークを散策し新しい思い出が増えていきます。本当に幸せを感じるひと時です。

職場でも、ディズニーが好きな人と話すのは、若い人から目上の方まで楽しいです。職種を超えて話に花が咲きます。子供が保育園に通っているとき、先生方とよくお話ししました。小学校の先生と話が盛り上がったこともあります。パーク内で見ず知らずの人と話しに盛り上がる時もあります。キャストさんと話す機会もあります。本当に不思議とディズニーを通して、いろいろな方と話す機会に恵まれます。

このごろでは、子供も大きくなり私と主人と一緒にまわっても楽しくないのではと思い、「姉妹でパークをまわってもいいよ。」と言ったところ、「せっかく家族で来たのだからいっしょにまわろう。」言われ、またまた幸せを感じました。

年々遊び方が変わってきますが、子供達の笑顔は変わらないままです。子供たちが成長し、いずれいっしょに行く事も無くなるでしょうが、その時まで家族で楽しみたいと思います。



平成26年10月・11月・12月の行事予定

10月

- 4日(土)～5日(日)
平成26年度 中部圏支部病理細胞検査研修会 : 金沢大学附属病院
- 13日(月) 平成26年度 第1回 臨床生理部門研修会 : 静岡県立総合病院
- 19日(日) 平成26年度 静岡県臨床衛生検査技師会 医療安全研修会
: 静岡市立静岡病院
- 21日(火) 第3回常務理事会・第6回理事会 : 静臨技事務所
- 22日(水) 平成26年度 衛生検査所精度管理責任者等研修会
: 口腔保健医療センター(浜松)
- 25日(土)～26日(日)
メディメッセ2014 : ツインメッセ静岡
- 25日(土) 平成26年度 第2回 臨床一般部門研修会 : 三島商工会議所
平成26年度 第2回 臨床微生物部門研修会 : 磐田市立総合病院
平成26年度 第3回 輸血・細胞治療部門研修会
: アクトシティ浜松研修交流センター
- 伊豆市社会福祉大会 : 生きいきプラザ及び伊豆市民文化ホール
- 31日(金) 静岡県標準化事業 第5回 中西部地区意見交換会 : 市立島田市民病院

11月

- 14日(金) 静岡県標準化事業 第12回 東部地区意見交換会 : 三島文化会館
- 22日(土) 平成26年度 臨床検査標準化事業講習会
: 静岡市産学交流センター ペガサート
- 平成26年度 第2回 臨床生理部門研修会
: 富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」
- 平成26年度 第3回 微生物検査部門研修会 : 静岡県教育会館

12月

- 13日(土) 第1回 染色体・遺伝子研修会 : 静岡赤十字病院
- 14日(日) 平成26年度静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 : あざれあ
浜松減塩・低カロリープロジェクト : 浜松医師会館

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 26 年 9 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 26 年 (10) (敬称略)

<p>10 月 19 日 (日) 9 : 00 ~ 16 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 西館 12 階 講堂</p> <p>会員 2,000 円 賛助会員 2,000 円 非会員 4,000 円</p>	<p style="text-align: center;">静岡県臨床衛生検査技師会 医療安全研修会</p> <p>9 : 00 ~ 16 : 00</p> <p>講演 『近江八幡市立総合医療センターにおける 医療安全活動について』 講師 近江八幡市立総合医療センター 副院長 細川洋平 先生</p> <p>講演『病理検査室における医療安全管理の取り組み』 講師 近江八幡市立総合医療センター 病理検査科 北川勇一 先生</p> <p>講義『病理業務におけるヒヤリハットの傾向と 医療安全のための管理手法-RCA を中心に-』 講師 (株)日立製作所ひたちなか総合病院 検査技術科 根本 誠一 先生</p> <p>グループワーク 『 RCA (根本原因分析) と活用方法 』 講師 (株)日立製作所ひたちなか総合病院 検査技術科 根本 誠一 先生</p> <p>医療における安全の確保は、医療を提供する者にとって の最重要課題です。 今回の研修会では『医療安全』の考え方や実践方法につ いて、講義やグループワークを交えながら学んでいただ きます。研修内容は病理検査に限定されたものではありませんので、病理検査に関わる技師だけでなく、多くの 検査技師の皆様の参加をお待ちしております。</p> <p>共催：静岡県臨床細胞学会 静岡県臨床衛生検査技師会 臨床検査総合部門</p> <p>事前申し込み制 先着 50 名</p> <p style="text-align: center;">(申込期限：平成 26 年 10 月 10 日)</p> <p>申し込み先 聖隷浜松病院 臨床検査部 弘島 大輔 E-mail: d-hiroshima@sis.seirei.or.jp TEL: 053-474-2632 メールにて会員番号・氏名・施設名・連絡先を記載の上 お申込みください。</p>	<p>No. (140017586) 教育-基礎-20 点</p> <p>聖隷浜松病院 臨床検査部 弘島 大輔</p> <p>TEL: 053-474-2632</p>
---	---	--

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>10月25日(土) 14:00~16:30</p> <p>三島商工会議所</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成26年度 第2回 臨床一般部門研修会</p> <p>『血球計数装置における髄液・体腔液測定について』 シスメックス株式会社 名古屋支店 プロダクト営業部 岡野 英里子 先生</p> <p>近年、髄液・体腔液細胞を血球分析装置で測定している施設が増加傾向にあると思われますので、岡野先生には、装置による分析・測定の注意点などについてお話していただく予定です。</p> <p>『穿刺液(腹水・胸水・心嚢水・髄液・関節液) 検査の基礎知識と臨床的意義』 三井記念病院 検査部 矢野 正生 先生</p> <p>穿刺液検査(腹水、胸水、心嚢水、髄液、関節液)は、測定方法・項目などたいへん施設間差の多い検査であるのが現状です。矢野先生には、臨床の場に必要とされる検査結果が報告できるよう、髄液・体腔液の基本的な知識とその検査における臨床的意義についてお話をさせていただきたく予定ですので、一般検査に携わっている方のみならず、他分野の方々もぜひ御参加下さい。</p>	<p>No. (140015247) 一般-専門-20点</p> <p>臨床一般部門 竹川 由希子</p> <p>JCHO 三島総合病院 TEL: 055 - 975 - 5545</p>
<p>10月25日(土) 14:00~17:00</p> <p>磐田市立総合病院 2F 講堂</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成26年度 第2回 臨床微生物部門研修会</p> <p style="text-align: center;">テーマ：グラム染色の所見取りをベテランに習う</p> <p>【受付】 13:45~ 【講演】 14:00~ グラム染色所見取りの基礎について 中東遠総合医療センター 上村 桂一 技師 【症例提示】 15:00~ モニターを使って実際の標本を見ながら所見取りをします</p> <p>静岡県立総合病院 深澤 真 技師 静岡県立静岡がんセンター 塚原 美香 技師 市立島田市民病院 栗田 泉 技師 静岡市立清水病院 池ヶ谷 加寿子 技師 静岡市立静岡病院 渡部 友芸 技師 磐田市立総合病院 杉江 昌男 技師 国立病院機構静岡富士病院 木山 有紀 技師 焼津市立総合病院 石原 美弥子 技師</p> <p>コメンテーター 中東遠総合医療センター 上村 桂一 技師</p> <p>研修会終了後：何でも質問コーナー 普段仕事で困っている事など何でもご相談ください</p>	<p>No. (140017452) 微生物-専門-20点</p> <p>臨床微生物部門 石原 美弥子 焼津市立総合病院 TEL: 054-623-3111 内線 2271</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>10月25日(土) 14:00~17:00</p> <p>アクトシティ浜松 研修交流センター 401会議室</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p>平成26年度 第3回 輸血・細胞治療部門研修会</p> <p>テーマ: 血液型検査について・輸血過誤について</p> <p>1. 血液型検査について オーソ・クリニカル・ダイアグノステックス株式会社 テクニカルサービスセンター 吉田 純平</p> <p>2. 輸血過誤について 静岡県赤十字血液センター 河合 和史</p> <p>血液型検査における基本的事項と、異常反応時の考え方などについて講演していただきます。血液型検査は輸血部門における基本的な検査項目のひとつです、しっかり習得しておきましょう。</p> <p>輸血過誤については、血液センターの方が講師です。今回の内容で各病院の研修会にも出張していただけるそうです。輸血部門担当者として事前にチェックしておきましょう。</p>	<p>No. (140018240) 輸血-専門-20点</p> <p>輸血・細胞治療部門 亀山拓哉 市立島田市民病院</p> <p>TEL: 0547-35-2111</p>
<p>10月25日(土) 10月26日(日)</p> <p>10:00~16:30</p> <p>静岡市 ツインメッセ 北館 大展示場</p> <p>参加無料</p>	<p>メディメッセージ2014 「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」 に挑む医療技術を大公開</p> <p>静岡県臨床衛生検査技師会 「平成26年度 検査と健康展」を同時開催!</p> <p>職業紹介 顕微鏡体験 (がん細胞・血球細胞など) 超音波検査体験 パネルによる説明 (がん細胞・血球細胞など) 体組成検査体験 骨密度検査体験 その他</p>	<p>No. (140014932) 公益事業-基礎-20点</p> <p>静岡県 臨床衛生検査技師会</p> <p>三原 利仁</p> <p>焼津市立総合病院 TEL:054-623-3111</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

<p>11月14日(金) 18:30~20:30</p> <p>三島市民文化会館 第一会議室</p> <p>会員 500円 非会員 1,000円</p>	<p style="text-align: center;">静岡県標準化事業 第12回 東部地区意見交換会</p> <p>若手技師・経験年数の浅い技師の方の研修と臨床検査に関する意見交換を通して検査室のレベルアップを図る</p> <p>1. 「パニック値対応を一緒に見直しましょう！」</p> <p style="text-align: center;">富士宮市立病院 石川 明彦 技師</p> <p>「当院のパニック値対応は適切であるか？」日常業務と一緒に振り返りましょう。各施設の対応方法の良い点、改善すべき点についてディスカッションしたいと思います。</p> <p>2. 「保存検体での追加検査に対する、 検体の取り扱いについて」</p> <p style="text-align: center;">株式会社シノテスト 小宮 大輔</p> <p>様々な状況によって、前日、前々日の保存検体を用いた追加検査を実施するケースがあると思います。保存検体を用いた追加検査の注意事項や保存検体の取り扱いについて、文献や実験データなどを用いて情報提供したいと思います。また、各施設の対応方法などをディスカッションしたいと思います。</p> <p>3. 次回の意見交換会について</p> <p>意見交換会のテーマ、施設の問題をディスカッションしたいと思います。</p>	<p>No. (140020782) 臨床化学—専門—20点</p> <p>富士市立中央病院 臨床検査科 鈴木英昭 TEL: 0545-52-1131 (内線 2272)</p>
<p>11月22日(土) 14:00~16:00</p> <p>富士市 産業交流展示場 「ふじさんめっせ」</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p style="text-align: center;">心エコー図検査を極める</p> <p>第1部 ライブ! 「ルーチン検査の進め方」</p> <p>第2部 依頼別! 「心エコー図検査で評価すべきこと」</p>	<p>No. (140018251) 生理—基礎—20点</p> <p>臨床生理部門 植野 道治</p> <p>富士脳障害研究所 附属病院 TEL: 0544-23-5155</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (5)

<p>11月22日(土)</p> <p>13:30~17:00</p> <p>静岡市産学 交流センター</p> <p>ペガサート プレゼンテーション ルーム</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p style="text-align: center;">平成26年度 静岡県臨床検査データ標準化事業 講習会</p> <p>1. 平成25年度 日臨技および静臨技臨床検査データ標準化事業報告 静岡県臨床検査標準化委員会</p> <p>2. 心筋バイオマーカー、それぞれの特徴 と使い分けを考える ～ACS急性冠症候群患者データからの知見ほか～</p> <p>県立総合病院救命救急センターに救急搬送された患者 データを中心に、それぞれの感度、特異性など、その特 徴(特性)にふれながら各種心筋バイオマーカーをどの ように選択したらいいか考察していただき、皆様のご 意見をお聞きしたいと思います。 静岡県立総合病院 検査部 久住 裕俊 技師</p> <p>3. 市販管理血清における表示値 と管理幅の信頼度の実際 ～目的に応じた使用方法と留意点について考える～ 静岡県立こども病院 太田原慎也 技師</p> <p><特別講演> 精度保障を支える精度管理 その基礎と応用 ～実践的な運用を目指して～ LSIメディエンス 木澤 仙次 先生 (元 愛知医科大学 中央臨床検査部 技師長)</p>	<p>No. (140017586) 臨床化学-基礎-20点</p> <p>静岡県立総合病院 検査部 菌田 明広</p> <p>TEL:054-247-6111</p>
<p>11月22日(土)</p> <p>14:00~17:00</p> <p>静岡県教育会館 大会議室</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p style="text-align: center;">平成26年度 第3回 臨床微生物部門研修会</p> <p>テーマ : 嫌気性菌を学ぶ</p> <p>1. 静岡県の嫌気性菌検査の実際 アンケート報告 静岡がんセンター 塚原 美香 技師</p> <p>2. (仮)「嫌気性菌感染症の検査法 -改定ガイドラインの要点- グラム染色と集落から予測する推定同定」 山口県立総合医療センター 中央検査部 前技師長 国広 誠子 先生</p> <p>研修会終了後 何でも質問コーナー 普段仕事で困っている事など何でもご相談ください</p>	<p>No. (140021288) 微生物-専門-20点</p> <p>臨床微生物部門 石原 美弥子 焼津市立総合病院 TEL: 054-623-3111 内線 2271</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (6)

<p>12月14日(日) 9:30～12:30</p> <p>静岡県男女共同 参画センター あざれあ</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p style="text-align: center;">平成26年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会</p> <p>参加者受付 (9:00～) [6F 大ホール]</p> <p>1. 開 会 (9:30～)</p> <p>2. 挨拶 静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会委員長 田内 一民 静岡県臨床衛生検査技師会長 三宅 和秀</p> <p>3. 分科会 (9:45～)</p> <p>1) 臨床化学検査部門 [6F 大ホール] 2) 血液検査部門 [5F 501会議室] 3) 微生物検査部門 [5F 502会議室] 4) 輸血検査部門 [5F 第3会議室] 5) 病理検査部門 [5F 504会議室]</p> <p>4. 全体会議 (11:00～) [6F 大ホール]</p> <p>5. 総 括 (12:15～) [6F 大ホール] 静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会委員長 田内 一民</p> <p>6. 閉 会 (12:30)</p> <p>会員は会員証カード(2012年4月以降発行のもの)を必ず持参して下さい。</p> <p>※ 当日は、駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。</p>	<p>No. (140021299) 精度管理－基礎－20点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>磐田市立総合病院 清水 憲雄 TEL:0538-38-5000</p>
--	--	---

臨床検査関連研修会・講習会 (7)

<p>平成 27 年 1 月 10 日 (土) 1 月 11 日 (日)</p> <p>浜松医科大学</p>	<p style="text-align: center;">第 31 回 中部圏支部一般検査研修会</p> <p>テーマ：『 高めよう知識、深めよう理解 ～世界遺産ふじの国から～ 』</p> <p>【参加費】 (2 日間) 9,500 円 (テキスト代含む) (1 日目のみ) 5,000 円 (テキスト代含む ・修了証書は発行しません) 情報交換会 (任意) 5,000 円 宿泊費 (任意) 5,000 円</p> <p>【募集人員】 100 名</p> <p>【募集期間】 平成 26 年 9 月 1 日～10 月 31 日</p> <p>【申し込み方法】 静岡県臨床検査技師会 臨床一般部門ホームページから申込みいただくか、参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局へ FAX を送ってください。 申し込み確認後、参加費振込先をご案内致します。</p> <p style="text-align: center;">*** プログラム ***</p> <p>【1 日目】 1 月 10 日 (土)</p> <p>講演① 『 腎疾患の基礎と検査データ考え方 ～ 臨床医の立場から ～ 』 講師：腎臓内科医師 (浜松医科大学)</p> <p>講演② 『 寄生虫症の現状と検査ポイント 』 講師：石井 明先生 明先生 (浜松医科大学感染症講座)</p> <p>講演③ 『 尿検査データから発信できる情報とは ～ 検査技師の立場から～ 』 講師：油野 友二 先生 (金沢赤十字病院)</p> <p>講演④ 『 尿沈渣の見方と中異型細胞鑑別ポイント 』 講師：西 国広 先生 (株エスアール)</p> <p>【2 日目】 1 月 11 日 (日)</p> <p>参加型 スライドカンファレンス めざせ尿沈渣マスター！ 講師：野崎 司 先生 (東海大学医学部付属病院)</p> <p>実習 (鏡検、標本作製)</p> <p>閉講式、修了証書授与</p>	<p>【研修会の問い合わせ先】</p> <p>臨床一般部門 部門長 藤原 彩乃 浜松医科大学 医学部附属病院 検査部 TEL: 053-435-2787</p> <p>臨床一般部門アドレス shizuokaippan@yahoo.co.jp</p> <p>【申込の問い合わせ先】</p> <p>事務局 竹川 由希子 JCHO 三島総合病院 臨床検査部 TEL :055-975-5545</p>
--	---	---

臨床検査関連研修会・講習会 (8)

<p>平成 27 年 1 月 17 日 (土) 1 月 18 日 (日) 9 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡県立総合病院 つつじホール</p> <p>受講料 : 10,000 円</p>	<p style="text-align: center;">検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会</p> <p>研修目的 : 臨床検査技師に患者向けの臨床検査説明・相談実施に必要な知識及び技術を習得させ、臨床検査技師のチーム医療参画の質的向上を図ることを目的とする。</p> <p>受講資格 : 静岡県臨床衛生検査技師会会員</p> <p>講義内容 : 別紙カリキュラム参照</p> <p>募集人員 : 30 名</p> <p>申込期限 : 2014 年 12 月 10 日 (日) まで</p> <p>(問合せ) 下記にメールにて会員番号・氏名・施設名・連絡先を記載の上お申し込み下さい 聖隷浜松病院 臨床検査部 弘島 大輔 E-mail: d-hiroshima@sis.seirei.or.jp</p>	<p>教育—基礎—30 点</p> <p>臨床検査総合部門 部門長 弘島 大輔 聖隷浜松病院 臨床検査部</p>
<p>平成 27 年 1 月 24 日 (土) 1 月 25 日 (日)</p> <p>静岡県男女共同 参画センター 「あざれあ」</p>	<p style="text-align: center;">平成 26 年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会</p> <p style="text-align: center;">テーマ「疾患ガイドラインを理解しよう」 ～信頼される診療支援のために知っておくべきこと～</p> <p>【受講案内】 定 員 : 80 名 受講料 : 8,000 円 (テキスト代込み) 申込方法 : 下記の内容を E メールでお送りください。 ① 所属技師会名と会員番号 ② 施設名・部署 ③ 氏名 (ふりがなをお願いいたします。) ④ 連絡先住所 ⑤ 電話番号 ⑥ 連絡先 E メールアドレス ⑦ 懇親会参加の有無 送り先 kensa2@ken.ja-shizuoka.or.jp 申込締め切り 平成 27 年 1 月 10 日 (木)</p> <p>お申込をされた方には後日、受講料振込口座、研修会会場までの地図、懇親会の場所 (参加者のみ) を改めて E メールにてご案内いたします。 宿泊は各自で手配をお願いいたします。</p>	<p>平成 26 年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査 研修会 事務局</p> <p>高林 保行</p> <p>JA 静岡厚生連 遠州病院 臨床検査科 TEL 053-453-1111 kensa2@ken.ja-shizuoka.or.jp</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (9)

<p>平成 27 年 2 月 8 日 (日)</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会員 6,000 円 賛助会員 6,000 円 非会員 10,000 円</p>	<p style="text-align: center;">第 15 回 静岡血液フォーラム</p> <p style="text-align: center;">血液担当技師としてのスキルアップをしよう!</p> <p style="text-align: center;">10:00 ~ 17:00</p> <p>第 1 講演 『 「伝授します!血算の読み方」 血算はこう読む 』 聖路加国際病院 内科統括部長 岡田 定 先生</p> <p>第 2 講演 『 微量金属欠乏症と貧血 』 アボットジャパン (株) 栄養剤製品事業部 庄田のりこ 先生</p> <p>第 3 講演 『 これだけは押さえておきたい! リンパ腫の基礎知識 』 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科病理学 佐藤 康晴 先生</p> <p>第 4 講演 『 血液形態検査に必要な基礎知識 』 NTT東日本 関東病院 臨床検査部 後藤 文彦 技師</p> <p>第 5 講演 『 抗血栓薬と凝固検査 』 アイエル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部 阪田敏幸 先生</p> <p>事前申し込み制 (血液研究班HPにて申し込み) 定員 先着 120 名</p> <p>※ 11/1 より 12/15 まで研究班HPに申し込み窓口をもちます。</p>	<p>No. (140020793) 血液—専門—20 点</p> <p>臨床血液部門 部門長 大橋 勝春 JCHO 三島総合病院 臨床検査部 TEL 055-975-5545</p> <p>【申込み問い合わせ先】</p> <p>血液フォーラム事務局 佐藤 政季 磐田市立総合病院 臨床検査技術科 TEL 0538-38-5000</p>
---	--	--

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい

☆ 求人情報 ☆(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒410-0302 沼津市東椎路春の木 550 沼津市立病院 臨床検査科 杉澤きよ美 まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp TEL : 055-924-5100 (内線 2225)